

●地域活動の紹介●

あづ
地域に彩りと絆をもたらす阿津桜

阿津さくら自然を守る会
会長 榎本 久美

平成14年に阿津川沿いに河津桜を植え、「阿津桜」と名付けて守り続けてきた地域の有志が、本年「阿津さくら自然を守る会」として新たな一歩を踏み出しました。毎年3月中旬の開花期には桜まつりが開かれ、子どもから高齢者まで地域の交流の場となっています。自然保全のための下草刈りなどの活動も行い、今後も阿津の桜と景観を守り続けていきます。

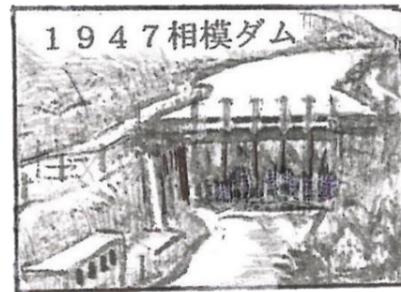


相模湖湖上祭花火大会の歴史 小野澤 陸雄

太平洋戦争が終戦を迎え、世の中が混沌としていた中、二子玉川や隅田川の花火大会に触発され、与瀬神社諸星宮司を中心に有志の熱意により、昭和23年8月1日第一回花火大会が開催されました。隅田川で有名な丸玉屋小勝煙火店（玉屋、鍵屋で有名な）が打ち上げ花火を担当し、八王子八日町商店会の「荒井」や「ヒノデン」などの錚々たる商店がスポンサーとなり花火大会を盛り上げました。

当初は、ダム建設で亡くなった人々、水没した勝瀬集落の湖底に今も沈んだままの先祖の遺骨、東京麻布中学の生徒22名を含む、水難に遭い尊い命を亡くした人達を慰霊するという大義から「湖浄祭」という名前でした。世の中が落ち着き、冠名を「湖浄」から「湖上」に変え、天候やコロナ禍による開催中止もありましたが現在まで続く花火大会となっています。

相模湖は立地条件が良く、湖を取り囲む周囲の山々が、背景の暗闇と迫力ある音響効果をもたらす、花火の魅力を一層際立てています。継続していくためには交通アクセスの充実など、更なる工夫が必要と思われますが、実現すれば他に類を見ない素晴らしい真夏の一大ページェントとなるでしょう。



「自治会」は
●防災訓練の実施
●防災物資の備蓄
●防犯灯の設置
●登下校児童の見守り
●地域のふれあい活動
など、皆さんにとってより
良い地域となるよう様々な活動をしています。

《問合せ》
相模湖地区
自治会連合会事務局
(相模湖まちづくりセンター内)
電話042-684-3213

【編集委員】

- ・吉良 奈美乃・渡辺 良恵
- ・中河 学 ・岸 実
- ・小島 和男 ・清水 創



さがみ湖地区社協だより

第87号 令和7年6月発行

【発行】相模湖地区社会福祉協議会 〒252-5162 相模原市緑区与瀬896番地 相模湖総合事務所3階
(市社協相模湖地域事務所内) 電話 042-649-0202 FAX. 042-649-0200
メール sagamikotiku@sagamiharashishakyo.or.jp ホームページ [相模湖地区社協](#)

いつまでも安心して住みつづけられる地域づくりを目指します

相模湖地区社会福祉協議会
会長 石井 冬樹

日ごろより地区社協活動へのご協力に感謝申し上げます。

少子、高齢化が進んでいる相模湖地区では、それに伴う大きな課題を抱えています。地区社協としては、地域住民が行っている福祉活動を手助けすることが大切であると考えます。特に高齢化が進んでいる現状では、家に閉じこもりがちになる高齢者に、地域活動や集いの場に参加していただくよう、積極的な声かけをしていくことなどが必要であると思います。

また、新たな課題も多くあり、医療については、診療所の統廃合、生活に欠かせない交通については、神奈中の路線バスの本数減便や路線の見直しなど、暮らしの根幹にかかわる問題を抱える状況にあります。地区社協としてどのようなサポートができるか、様々な場面で提案し、皆と一緒に考えていきたいと思っています。

今年度も引き続き、地区社協への協力をよろしくお願いたします。



左から
監事 榎本久子・副会長 中河 学・副会長 大野みち代
会長 石井冬樹・監事 清水正光・副会長 岩間 肇
会計 國場弥生

退任理事 (敬称略)

原 佳子・三樹 秀文・石田 裕子
瀧本 和紀・小林 仁・江藤 正恵・遠藤 亮裕
清水 正光・倉田 真由美
ご尽力ありがとうございました。

理事・監事 任期：令和7年～8年度（敬称略・順不同）

役職	氏名	選出団体	新任
会長	石井 冬樹	民児協（千木良地区）	
副会長	岩間 肇	自治会（与瀬・小原地区）	
副会長	中河 学	有識者	
副会長	大野 みち代	有識者	○
会計	國場 弥生	有識者	
	森久保 高弘	自治会（内郷地区）	
	松本 快	自治会（千木良地区）	○
	清水 孝夫	民児協（与瀬・小原地区）	
	小島 和男	民児協（内郷地区）	
	橋本 利貢	老人クラブ連合会	
	鈴木 克枝	相模湖公民館	○
	永野 祐司	津久井やまゆり園	
	小山 創	NPO 法人湘北福祉会やまのべ	
	齋藤 純一	相模湖地域包括支援センター	○
	井上 まな美	相模湖地区小中学校PTA (内郷小学校)	○
	白須 由美子	おなはレクレヨン	○
	欠員	相模湖商工会	
	市村 志乃	有識者	
	砂金 富保		
	清水 心み子		
	岸 実		
	朝比奈 滋明		
	長田 愛子		
	永井 有乃		
	佐藤 和世		○
	新井 芳男		
	藤井 行雄		
監事	清水 正光		○
	榎本 久子		○



相模湖地区社協基本理念「支えあい 心ふれあう まちづくり」を目指して いつまでも、住民のふれあいと、支えあいのあるまちを!!

令和7年度の主な事業

〈楽しく安心して暮らせる地域づくりを目指します〉

【高齢者や障がいのある方のために】

- ちよこっとボランティア相模湖の運営
～困りごとに対する住民相互の助け合い活動～
- とっさの時のあんしんケースの配付・更新
- みまもりネットさがみこの実施

〈あんしんケースの配付〉



〈みまもりネットさがみこ〉



〈ちよこっとボランティア活動の様子〉



お掃除 電球交換

〈こんにちは赤ちゃんぬくもり支援事業〉



プレゼントを届けに赤ちゃん訪問 プレゼントの内容

〈ピカピカー年生にここにプレゼント〉



手作りの移動ポケットをプレゼント



子育てサロン夢♡民の様子

【子育て支援】

- 「こんにちは赤ちゃん!さがみこ“ぬくもり”支援事業」の実施
- 「ピカピカー年生にここにプレゼント」の実施
- ぬくもりボランティアによる手作りプレゼントの製作
- 子育てサロン夢♡民への協力、支援(第2、3木曜日・千木良公民館)

〈多くの人が参加できる事業を実施します〉

○福祉のつどい



福祉のつどい

○福祉バザー



福祉バザー

○福祉体験の機会を提供

○ふくし絵手紙コンクール



福祉のつどいでの応募作品展示

〈身近な地域活動を応援します〉

- ふれあい・いきいきサロン等への支援
- サロン等会場費の助成
- ボランティアグループ・福祉推進団体への助成
- 広報紙(地区社協だより)等の発行
- 暮らしに役立つ交流会



地区社協だより



暮らしに役立つ交流会

○地区社協備品の貸出し 貸出備品の一例



モルック

ラダーゲッター

綿菓子機

ポップコーン



カーレット



ポッチャセットとハーフコート



テント



着ぐるみ

令和7年度の主な予算

収入合計
3,380,000 円

支出合計
3,380,000 円



市社協からの補助金・配分金当	1,374,000 円
福祉バザー等の売上	60,000 円
寄付金(福祉協力募金含む)	970,000 円
雑収入(繰入金含む)	10,795 円
前年度繰越金	965,205 円



運営に必要な費用	934,000 円
活動や行事等に使う費用	1,666,000 円
地域団体等への補助金	660,000 円
災害時等への積立金	55,000 円
予備費	65,000 円

賛助会費・福祉協力募金・協力寄付金にご協力いただきありがとうございます

相模湖地区社協の事業は、地域の皆様にご協力いただいた寄付金(地区社協福祉協力募金、協力寄付金、一般寄付金等)及び市社協賛助会費の配分金等を財源に運営させて頂いています。地域福祉のため、今年度も引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

【募集期間】 4月～12月



応募作品募集!

ふくし絵手紙コンクール

令和6年度入賞作品
テーマ:「あのね...」つたえたいこと

テーマ「わたしのたからもの」

あなたのたいせつなものは何ですか?
はがきに絵とメッセージで描いてご応募ください。
今年の参加賞は作品を掲載したオリジナルカレンダーです!
募集期間: 7月7日(月)～9月19日(金)
応募希望者は、事務局までご連絡ください。
TEL: 042-649-0202



ちよこっとボランティア相模湖 サポーター募集中!

ちよこっとボランティア相模湖はちょっとした困りごとを、住民同士のお互い様の気持ちで助け合う仕組みです。1時間以内で片づくような困りごとに、地区内のサポーター(登録ボランティア)が対応しています。一緒に活動して下さるサポーターを募集しています。まずは、お気軽にお電話にてお問い合わせください。

【主な活動内容】
ゴミ出し、草取り、電球交換
簡単な掃除、衣替え、家具の移動等



相談窓口: 毎週水曜日 午前10時～正午
電話: 080-1037-0202
相模湖総合事務所3階